

## 2019 年度「中学校職場体験学習」受け入れについて

OHK岡山放送では、2019年度も10月・11月に岡山市内の公立・私立あわせて4つの中学校、計14人を各校2日間にわたって「職場体験学習」として受け入れ、生徒ご本人の希望に沿ってミルンスタジオ内での実習を中心に、OHK各部署の業務内容、制作現場、アナウンサー原稿読みなどを体験学習して頂きました。

「テレビ局の裏側を知りたい」「将来、アナウンサーになりたい」「番組制作のしくみを知りたい」という、各校の生徒に共通して持つテレビ局への興味・学習意欲を受け、ニュース原稿読み業務についてはOHKアナウンサーの指導のもと下準備と原稿の内容を伝える際の注意点、情報番組制作については「取材させて頂くという姿勢」「正しい情報を伝える」など、ディレクターが業務上日々心掛けていることなどを学んで頂きました。(次頁につづく)



ニュース原稿読みの仕組みについて説明する萩原渉アナウンサー



情報番組の制作手法について「なんしょん？」OA映像を使用しながら講義を行いました



「なんしょん？」プロデューサーが取材時の心掛けなどをお話しました



「なんしょん？」本番前の空き時間を使って、当日放送用のカンペ台本をめくって合図を出す体験をして頂きました



篠田吉央アナウンサーが飛び入りで原稿の読み方について熱くアドバイス



生徒の皆さんの熱意でレッスンをグレードアップさせた堀 靖英アナウンサー（左下）。映像を止め改善点を指摘

また、可能な範囲ではありましたが、「なんしょん？」のリハーサル風景や生放送直前・本番中の臨場感をスタジオ内で見学・経験して頂きました。

当日は事前にカリキュラムを組んで、生徒の皆さんをお迎えしました。そんな中で、ミルンスタジオ内の移動時に、偶然その場に出くわした篠田アナウンサーが生徒の皆さんとふれあいながら質疑応答に応じました。また、番組制作に関わるスタッフの中にはリハーサル開始前やニュース原稿の作成などで待機している技術スタッフが自発的に、生徒の皆さんに対し「カメラを実際に操作してみる」「ニュース映像編集のポイント」などを説明しました。“テレビ局の仕事に関心を持ってもらおう”“OHKのファンになって頂こう”と積極的に動ける「人材」がいることが「OHK岡山放送の強み」でもあります。

後日、14人の生徒全員から学校を通じてご丁寧な御礼状が届きました。今回の職場体験学習がきっかけで、どこかで一緒に仕事ができる日が来るかもしれませんね。

社員・スタッフ一同、皆さんの今後のご活躍をお祈りしています。



haremachi スタジオをお借りして、午前中に練習した原稿読みを収録



haremachi TVで放映するショッピング情報の中継下見を見学



「なんしょん？」リハーサル開始までの空いた時間でカメラマンが即席カメラワーク指導。良かったですね！



テレビ局の中核・編成部のお仕事を熱心に聞く生徒の皆さん。OHK基本番組表でどの時間に何の番組を放送するかなどを学んで頂きました



平日午後4:49から冒頭1分間、ミルンスタジオからお届けする「OHK Live」の生放送に立ちあいました



haremachi スタジオで収録した原稿読み映像を見ながら、読み方の出来具合と改善方法について上岡 元アナウンサーからの講評を受けて頂きました